

事業者向け

ふくおーれ
児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表

2025年度版

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	備考
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			
	2	職員の配置数は適切であるか	☐			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	☐			手すりやスロープの設置のほか、自動水栓や自動照明の設置をしている。
業務改善	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐			待合での設置及び閲覧の促しを行っている。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐			月に1回以上のケースカンファレンスや支援研修を実施している。
適切な支援の提供	7	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			発達心理学の視点から各担当者と児童発達支援管理責任者がアセスメントを実施し、利用児童及びご家庭のニーズに沿った計画を策定している。
	8	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	☐			必要に応じて、発達検査や心理検査を実施している。
	9	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	☐			毎回、利用児童の体調や疲労度等を考慮し、プログラム内容を柔軟に設定している。
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	☐			
	11	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	☐			
	12	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	☐			
連携	13	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		☐		必要に応じて行っている。
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☐			療育後に保護者への振り返り時間を設け、利用児童の様子や療育内容について情報を共有している。
	15	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	☐			保護者の療育同席のほか、必要に応じて事業所内相談を実施し、ご家庭での関わり方等助言を行っている。
保護者への説明責任等	16	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐			
	17	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐			必要に応じて事業所内相談を実施し、ご家庭での関わり方等助言を行っている。
	18	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	☐			
	19	個人情報に十分注意しているか	☐			
	20	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	☐			
非常時等の対応	21	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	☐			防犯用電気錠の説明や感染対策取り組みについて待合に設置している。
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	☐			
	23	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	☐			